

<全国統一標語> 「消さないで あなたの心の 注意の火。」



消防 鹿角

第22号 平成19年 春季号
編集・発行：鹿角広域行政組合消防本部

鹿角広域行政組合消防本部管内
出動件数

平成18年1月～平成18年12月
総出動件数 1,588件

①火災等	13件
②救急	1,432件
③救助	28件
④風水害	11件
⑤遭難捜索	12件
⑥その他	92件

NEW

十和田分署高規格救急車

十和田分署の救急車が新しくなりました。車内は大幅に拡大し、ゆったりとしたスペースとなり、高度な救命資器材も装備されました。（平成19年2月9日運用開始）

サイレンは夜間や、街中での騒音対策として、柔らかな音色になっています。

赤色灯は点滅式のLEDを使用し、省電力で鮮明な明るさです。

よろしくね!



車内を見て見よう!



車内滅菌装置

オゾンガスとマイナスイオンを放出して車内に充満させ、細菌を強力に脱臭、除菌します。

防振ベット

磁石のエネルギーを利用して、患者搬送時の振動を和らげることができます。

自動心マッサージ器



最新装備の紹介!



心臓が停止している場合、胸囲に応じて適切な強さで胸部全体の圧迫（心マッサージ）を自動で行います。

階段救助器具

患者を座らせたまま階段下までスムーズに搬送することができ、そのまま車イスとしても使用できます。



災害情報メール配信

利用される方は、登録先メールアドレスへ氏名と登録するメールアドレス、連絡先の電話番号を明記して送信して下さい。登録先メールアドレス info@fdkazuno.jp

ホームページ

ホームページアドレス <http://www.fdkazuno.jp>
携帯電話用災害情報サイト <http://www.fdkazuno.jp/keitai>



携帯電話サイト用QRコード



鹿角市消防団
第3分団第1部
(旧花輪第3分団
第1部)
団員 山本和喜
(東町)

3日間にわたって開催された今回の研修会では、「若い消防団員の確保について」というテーマについて、各地から集った消防団員と意見を交換しました。

「団員不足」は全国共通の課題であり、それをどのようにして確保していくのか、様々な意見が提起されましたが、「消防団が地域の消防署と連携して、消防団の日頃の活動を宣伝していく。」という結論に至りました。例えば、地震や火災が発生した場合の消火の仕方や避難の方法など、簡単なように意外にわからない事から地域の方々にPRして、消防団の大切さを知ってもらえるように積極的に展開していくことが、新入団員の確保に繋がるのではないかと考えたのです。地域防災のリーダーである消防団員であることに誇りを持ち、今回の研修会で学んだ実務や講義を防災活動に積極的に取り組んで参りたいと思います。

消防団幹部候補中央特別研修会
平成十九年二月十八日～二十日
東京都港区 日本消防会館

「市民を守る魅力ある消防団づくり」

鹿角市では消防団の活性化を図る対策として、「市民を守る魅力ある消防団づくり」基本計画を策定しました。

その一つとして、平成19年4月1日から鹿角市消防団名称が一連番号制に変更になりました。

旧 分団名称	新 分団名称
花輪第1～4分団	鹿角市消防団 第1～4分団
尾去沢第1～2分団	第5～6分団
八幡平第1～5分団	第7～11分団
十和田第1～6分団	第12～17分団

そのほか、女性消防団員の採用、新消防協力員制度の採用、出勤手当の改定、夏服等の採用、軽積載車の導入、団員による消防訓練大会の運営、

防火週間行事の充実、出初め式の簡素化、教養研修の強化、資格取得への支援体制、新出場計画の確立、消防本部との共働、安全管理体制の確立について取り組むことになりました。



消防通信 龍吐水

小坂町消防団に軽消防車配備

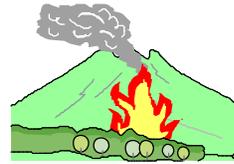
小坂町では平成18年度に、鹿角市・小坂町で初めて「小型動力ポンプ付軽4輪駆動消防車」を5台配備しました。軽ワゴン車をベースにしたコンパクトなサイズで、装備品は従来と同じですが、操作性に優れた最新の小型動力ポンプを積載しており、狭い道や山道でも小回りの利いた安定した走行が可能です。この軽消防車は全国的に配備が見込まれており、今後も町民の「安心・安全」を守る頼もしい戦力として期待されています。



火の用心 森のめぐみを 未来まで

「春は山火事が多い」その理由は大きく二つあります。①春は空気が乾燥し、強風の日が多い。②雪が解け、燃えやすい枯葉や下草が現れる。やむを得ず火を取り扱う場合は、次のことを必ず守ってください。

1. 消防署へ届出をする。
2. 火から離れない。
3. 消火用の水を用意する。
4. 煙草の投げ捨てはしない。



山火事のほとんどが、不注意によって起きています。一人一人が森林の大切さを認識し、山火事予防にご協力ください。

また、山菜シーズンも到来します！夢中になって迷ったり、無理をして崖から転落など、遭難をしないように十分気を付けて入山してください。